



独立行政法人
海技教育機構 第5回研究発表会 プログラム

2018年9月20日(木)開催

会場：横浜第2合同庁舎1階 共用第一会議室 Web中継：海技教育機構海技大学校 開催時間 [10:30~17:00]

時間	発表題目	氏名(所属) ○印は発表者
[開 会]		
		司会 前田 潔 (上級教育・研究国際部長)
10:30 ~ 10:40	開 会 の 辞	野崎 哲一 (海技教育機構理事長)
10:40 ~ 10:50	来 賓 挨 拶	水嶋 智 (国土交通省海事局長)
[特別講演]		
		司会 前田 潔 (上級教育・研究国際部長)
10:50 ~ 11:30	「SOx規制対応に向けたLNG等代替燃料船の最新動向」	青山 憲之((株)日本海洋科学コンサルタントグループ)
11:30 ~ 12:10	「北極海からのLNG輸送 ～ヤマルLNGプロジェクト～」	泉 史郎((株)商船三井 技術革新本部)
昼休憩 (12:10 ~ 13:10)		
[第1セッション：行動・安全]		
		司会 渡邊 兼人 (安全・危機管理室長)
13:10 ~ 13:30	ヒューマンエラー発生メカニズムの理解促進に関する研究 —『JR東日本「他山の石」置換え支援ツール』に基づく 練習船で発生したヒヤリハットの分析—	○村田 信、須藤 信行、平山 悠太、中村 哲
13:30 ~ 13:50	実習生を対象としたヒューマンエラーに関する意識調査 —乗組員との比較—	○山田 悠人
13:50 ~ 14:10	乗船実習に於ける実習生の安全意識向上に関する研究 —危険記録シート：Risk Record Sheet (R2 Sheet)の試行及び結果 について—	○山岸 拓央
[第2セッション：教育訓練]		
		司会 中村 哲 (教育研究課長)
14:10 ~ 14:30	船員養成における学校の自己完結性と学習の往還 (その2) —調理実習の観察に基づく分析—	○坂 利明
14:30 ~ 14:50	座学と訓練における一貫性のあるカリキュラムへの対応について —機関系訓練項目の指導方法と学習時間の検証—	○楠 将史、恵美 裕 熊上 尚男 (運輸安全委員会)、高村 謙二
14:50 ~ 15:10	「船舶局無線従事者証明に係る認定新規訓練」 遠洋航海時の無線室当直における学習効果・理解度向上についての —考察—	○天野 善昭、小澤 春樹
休憩15分		
[第3セッション：船舶運航、港湾事情]		
		司会 外谷 進 (業務推進課長)
15:25 ~ 15:45	日露親善交流行事への参加とウラジオストク港湾事情	○岡 あや乃、田中 識啓、菊池 章友、熊田 公信
15:45 ~ 16:05	大型帆船の帆走性能に関する研究 —冬季北太平洋における日本丸の最適航路の検証について—	○比江島 淳、阿部 真二郎
16:05 ~ 16:25	平成30年度海王丸遠洋航海におけるカフルイ寄港と 帆船での機走によるハワイ諸島への航海について	○若松 幸秀、山岸 拓央、菊池 章友、熊田 公信
研究業績表彰		
16:35 ~ 16:45	平成29年度研究業績表彰 (大杉賞) 授賞式	野崎 哲一 (海技教育機構理事長)
[閉 会]		
16:45 ~	閉 会 の 辞	村松 智司 (教育・研究国際担当理事)